

P

G

## DAM-DATA

所 在 地：大分県由布市挾間町  
河 川 名：大分川水系大分川  
型 式：重力式コンクリートダム  
ゲ ー ト：ローラーゲート×6  
堤高・堤頂長：22.7m・77.5m  
総貯水容量：1,663,000m<sup>3</sup>  
管 理 者：九州電力株式会社  
本体着工/完成年：1956年/1958年



### ランダム情報

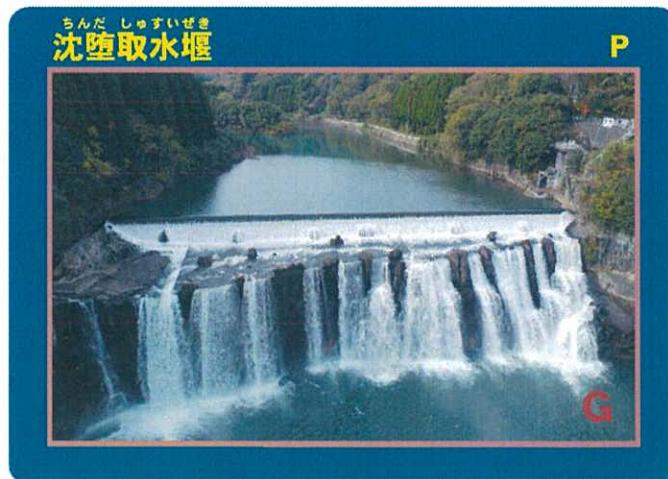


由布市にある由布院温泉は温泉湧出量全国3位、源泉数全国2位を誇る。また、長さ12kmの「由布川峡谷」があり、高さ15～60mの岩肌を40数条の滝が流れる美しい景観から「東洋のチロル」とも呼ばれている。

詳しいデータは[こちら](#)

### こだわり技術

大分川水系本流最下流の発電用ダムであり、下流への一定以上の水量を確保する役割も果たしている。ダム設置に伴い、河床部等の掘削を約2.3万m<sup>3</sup>行い、コンクリートを約3万m<sup>3</sup>使用し、延べ約14万人を動員し造りあげた。また、当該地点で発生した転石をクラッシャーで碎石し、堤体コンクリートの骨材の一部として使用している。



P

G

## DAM-DATA

所 在 地：大分県豊後大野市大野町  
河 川 名：大野川水系大野川  
型 式：重力式コンクリート堰  
堤高・堤頂長：5.5m・114.90m  
総貯水容量：252,000m<sup>3</sup>  
管 理 者：九州電力株式会社  
本体着工/完成年：1908年/1909年



### ランダム情報



詳しいデータは[こちら](#)

豊後大野地域は、「日本ジオパーク」の認定を受けるなど、多様な地形・地質のほか歴史的資産を有している。

「沈堕の滝」は、室町時代の画僧「雪舟」によって、1476年頃に「鎮田瀧図」として描かれた。また、近隣にある「原尻の滝」は日本の滝百選に選ばれている。

### こだわり技術

滝を構成する砂礫層が弱層であり、岩盤の崩壊により滝の後退が進んできたことから、ロックボルトにより壁面の岩盤を縫いつけ、ロックボルトの頭部を岩盤に埋め込むなど、滝の崩壊防止と滝の景観を損なわないよう補強工事を行っており、現在でも滝の景観を保持させている。また、自然石や擬岩を施して沈堕の滝の11条の落水を再現した。